科目名	美術基礎３							年度	2026
英語科目名	Basis of Fine Arts 3							学期	前期
学科・学年	CG映像科 ２年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	齋藤、鮫島、榊原	教員の実務経験		有	実務経験の職種		画家、大学講師、予備校講師		

【科目の目的】

CGデザイナーにとって重要な観察力・造形力を養います。
様々な現象・自然物・人工物を観察し客観的に把握・表現する力、三次元空間・立体感を表現する力をデッサンを通じて身につけることを目的とします。

【科目の概要】

1年次の授業を発展させ、より複雑なモチーフや条件の課題内容が含まれます。
観察力・表現力を養うために、教室内にセットしたモチーフや配布されたモチーフを主に鉛筆でデッサンします。
さまざまな形態や質感を持つ工業製品や自然物、石膏像やモデルや自分自身の体もモチーフになります。
１枚の作品を2週～3週で制作することで、作品の計画・表現・検証・仕上げのプロセスを繰り返し体感します。
(美術基礎３はデッサン３の続きの授業となります。)

【到達目標】

目の前のモチーフを描くことで、透視図法をはじめとする遠近法を理解し、2次元の画面に3次元空間の拡がりを空間的・立体的に表現すること。
モチーフの持つ構造・プロポーション・質感などをよく観察し迫力を持って客観的に表現すること、クロッキーを繰り返して人体の構造や動きを理解することで、モデリングやアニメーションをはじめとするCG制作に役立てること。

【授業の注意点】

この授業では、実際に描いて経験し、デッサンを自分の感覚の中に取り込むことを重視します。描き、モチーフと比較検証し、より対象に近づくように修正しながら描くという姿勢が大切です。
また、成果を上げるには常により良い作品にしようという意欲を持つこと、独りよがりにならず客観的な視点を持つことが重要です。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A 「制作意欲と自主性」	課題に対して、常に意欲を持って取り組んでいる。教室内の制作環境にも気を配っている。	課題に対して考察している。用具の準備が出来ている。周囲の制作環境を意識出来る。	課題について、考察が足りない。用具の準備が不充分な時がある。制作環境に気を使わない。	モチーフや課題に対して、理解しない。自主的に描こうとしない。用具の準備が出来ていない。	制作に対してやる気が感じられない。描く頻度が少ない。画材の準備が全く出来ていない。
到達目標 B 「作品構想と計画力」	課題の意図を良く理解し、構想を立てることが出来る。プロセスを経て作品を完成させられる。	課題の意図を理解している。複数のアイデアから作品を完成させることが出来る。	課題に対して複数のアイデアを出すことが出来るが、計画性が足りず作品が完成しないことがある。	課題に対しての理解が足りない。アイデアが出ないことがある。作品が完成しないことがある。	課題が理解出来ない。アイデアスケッチが出来ない。時間内に作品が完成しない。
到達目標 C 「画面構成力と空間把握」	モチーフや課題に対して最適な構図を取り、遠近法により、自然な空間を表現出来る。	モチーフや課題に対して、最適な構図を探そうとしている。遠近法の表現が不自然なことがある。	モチーフや課題に対して、構図の取り方が適していない。透視図法を充分に理解していない。	モチーフや課題に対して、構図の意識が乏しい。遠近感について、表現出来ない。	画面枠と構図という意識が無い。遠近法について理解が出来ていない。
到達目標 D 「観察力と表現力」	モチーフの構造とプロポーション・質感などを良く観察し、力強く自然に表現出来る。	モチーフの構造とプロポーション、質感を観察しようとしている。	モチーフの構造やプロポーションの観察が不足している。形が不自然になることがある。	モチーフの構造やプロポーションの観察が著しく不足している。つねに形が不自然になる。	モチーフについて、興味が足りない。観察し比較するという意識が足りない。
到達目標 E 「創造性とオリジナリティ」	課題を独自の解釈や表現で制作しようと試み、客観性と説得力のある作品を完成させられる。	課題を独自の解釈や表現で制作しようと試みる。作品は客観性が欠けることがある。	課題を独自の解釈や表現で制作しようと試みる。課題の意図から外れてしまうことがある。	課題を強引に独自の解釈や表現で制作しようと試みる。作品に客観性が乏しい。	作品に独自性を求める気持ちが乏しい。新しい表現への意欲が少ない。

【教科書】

毎回プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題50%完成した企画の完成度について評価する。
平常点　　50%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	美術基礎３	年度	2026
英語表記	Basis of Fine Arts 3	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	静物デッサン①	セットされたモチーフを観察・表現する。	1	作品の構想を練る	モチーフから完成の構想が決められる	2	
			2	エスキースを描く	エスキースをもとに構図を決められる		
			3	画面に描き出す	モチーフの印象を捉え、バランス良く描き出せる		
2	静物デッサン①	セットされたモチーフを観察・表現する。	1	比較検証、修正	作品とモチーフを比較し、修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、質感を表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
3	卓上構成デッサン①	自分でモチーフを組み合わせ、表現する。	1	作品の構想を練る	モチーフから完成の構想が決められる	2	
			2	エスキースを描く	モチーフの組み合わせと構図を決められる		
			3	画面に描き出す	モチーフの印象を捉え、バランス良く描き出せる		
4	卓上構成デッサン①	自分でモチーフを組み合わせ、表現する。	1	比較検証、修正	作品とモチーフを比較し、修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、質感を表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
5	石膏デッサン①	セットされた石膏像を観察・表現する。	1	石膏像を観察する	クロッキー（線描）し、多方向から観察出来る	2	
			2	エスキースを描く	クロッキーをもとに構図を決められる		
			3	画面に描き出す	モチーフの印象を捉え、バランス良く描き出せる		
6	石膏デッサン①	セットされた石膏像を観察・表現する。	1	比較検証、修正	作品とモチーフを比較し、修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、形態感を表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
7	透視図法についてのエクササイズ	透視図法について講義を聞き、その後練習課題を行う	1	透視図法の講義	講義、作例を見て透視図法を理解する	2	
			2	練習課題	練習課題により透視図法を理解出来る		
			3	次週の制作準備	次週の風景制作の場所を探し、エスキースする		
8	風景デッサン	学内の風景を、配布されたモチーフを含めて描く	1	制作場所を決定する	モチーフを配置し改めて構図を検討出来る	2	
			2	エスキースを描く	エスキースをすすめパース、構図が決められる		
			3	画面に描き出す	自然なパースで画面に描き出せる		
9	風景デッサン	学内の風景を、配布されたモチーフを含めて描く	1	比較検証、修正	検証しパース、モチーフとの関係を修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、空間を表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
10	想定デッサン	指定された形態と配布されたモチーフを構成して描く	1	作品の構想を練る	指定の形態を理解しモチーフと組み合わせられる	2	
			2	エスキースを描く	モチーフの構成、画面空間を計画出来る		
			3	画面に描き出す	正しい形態をバランス良く描き出せる		
11	想定デッサン	指定された形態と配布されたモチーフを構成して描く	1	比較検証、修正	構想と作品の検証をし修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、空間を表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
12	静物デッサン②	セットされたモチーフを、条件に従い表現する	1	作品の構想を練る	モチーフをどこから、どう描くかを決められる	2	
			2	エスキースを描く	画面の主役、脇役、空間の大きさを決められる		
			3	画面に描き出す	モチーフの印象を捉え、バランス良く描き出せる		
13	静物デッサン②	セットされたモチーフを、条件に従い表現する	1	比較検証、修正	構想と作品の検証をし修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、モチーフを表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		
14	構成デッサン①	手とモチーフの関係を考え、構成し表現する	1	作品の構想を練る	手とモチーフの関係を決め構図を考えられる	2	
			2	エスキースを描く	エスキースにより自然な手の形を観察出来る		
			3	画面に描き出す	構図のバランスに注意して描き出せる		
15	構成デッサン①	手とモチーフの関係を考え、構成し表現する	1	比較検証、修正	作品とモチーフを比較し、修正出来る	2	
			2	描き込み	しっかり鉛筆を乗せ、モチーフを表現出来る		
			3	修正、完成	描き込みのバランスを見て、完成出来る		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等　指定の実習室・教室で受講する。